

第1回 解説・出題の狙い

解説中の【A】【B】【C】【D】は正答率及び得点率を表しています。【A】は76%以上、【B】は75～51%【C】は50～26%【D】は25%以下となります。参考にしてみてください。

1 オリンピックを題材とした歴史・地理・公民の融合問題

問1 1・2【ブラジル：A フランス：A】

世界の国名を確認させる基本的問題。時事的要素を含むリオデジャネイロと、ヨーロッパの主要都市パリから国名を想起する。

問2 【A】オリンピックは、夏季・冬季ともアフリカ諸国では実施されていない。近年のオリンピック開催地を考えても、アフリカ大陸で開催されていないことが想起できる。

問3 【B】山口県に関する地理・歴史融合の正誤選択肢の問題。(イ)の後半部分「東部には日本最大のため池である満濃池がある」が誤りで、満濃池の所在地は香川県である。

問4 【 】出題不成立のため、削除しました。

問5 【B】世界地図がイメージできるかを意図した出題。(ア)の札幌は北緯43度、(イ)の秋田は北緯39度、(ウ)の東京は35度、(エ)の鹿児島は31度である。

問6 地図を使用した長野県および隣接県の農業に関する問題。

(1)【C】キャベツの生産という点、長野県や群馬県の抑制栽培による高原野菜にたどり着き、地図のエ(長野県)やオ(群馬県)を選択する可能性がある。しかし、問題文の「近郊農業」という言葉、そして「生産全国1位」ということから、カ(愛知県)が正答となる。

(2)【A】地図に上がっている県と「茶の生産全国1位」からキ(静岡県)は容易なはずである。あとは地図の位置を間違えないことである。

問7 (1)【B】大正時代は1912年から1926年。この時代は、大正デモクラシーとよばれる風潮があった。選択肢のうち、(ア)は1905年の日比谷焼き打ち事件、(イ)は1881年に出席した国会開設の勅諭、(エ)は1950年代末から1960年に日米安全保障条約改定に反対した安保闘争。どれも人々の動きに関する選択肢だが、答えは(ウ)。普通選挙法は1925年に制定されるが、治安維持法も同時に制定されている。大正デモクラシーの時代に、普通選挙法と治安維持法がセットで出されるということを理解しておこう。

(2)【A】発電所の地図記号を問うている基本的問題。(ア)は警察署、(イ)は工場、(ウ)は灯台、(エ)は発電所である。

問8 【B】江戸幕府の最後の将軍、徳川慶喜を答える基本的問題。

問9 【C】1936年に起きた出来事は二・二六事件。1932年の五・一五事件と区別しよう。

問10 【C】新たなスタジアムを建設するためには金属資源や資金・労働力が必要である。しかし、1937年に始まった日中戦争により、日本の金属資源や資金・労働力は、日中戦争で使用されるようになった。こうして、新たなスタジアムを建設することは困難になった。

問11 (1)【人物名：A 改革の名称：A】

飛鳥時代の政治に関する問題。中大兄皇子とともに蘇我氏を倒した人物は、中臣鎌足である。中大兄皇子が、中臣鎌足とともに行った政治改革は大化の改新である。

(2)【C】平安時代の歴史に関する並べ替え問題。(ア)の和歌がよまれたということから、藤原道長が実権を握った頃と判別できる。(イ)は「坂上田村麻呂」という言葉から平安初期に桓武天皇が実権を握った頃と判別できる。(ウ)は院政が行われていた時代なので、摂関政治が終わった後と判別できる。(エ)は平等院鳳凰堂を立てた人物は藤原頼通なので、藤原頼通の時代だと判別できる。

(3)【C】貴族の屋敷の建築様式なので、寝殿造が答えとなる。書院造と区別しておこう。

(4)【C】複数の時代の農民に関する選択肢から、鎌倉時代の選択肢を選ぶ問題。(ア)は「地域の特産物や麻の布」を納税するとあるので、律令政治が行われていた奈良時代。(イ)は「国司

からの不正な税の取り立て」とあるので、平安時代。(エ)は「寄合」、「村おきて」とあるので室町時代。答えは(ウ)。(ウ)にあるように、西日本で二毛作が行われるようになるのは、鎌倉時代である。室町時代の産業と区別ができるようにしておこう。

(5)【名称：B 目的：C】

右の札は勘合である。室町時代には倭寇とよばれる海賊がいた。この海賊と正式な貿易船を区別するために用いられたものが、勘合である。

(6)【A】安土桃山時代の建築に関する問題。「琵琶湖のほとり」という言葉をヒントに、安土城を答えよう。

問 12 【A】時事的関心を測る基本的問題。ヨーロッパ連合よりも、ニュースなどで「イギリスのEU離脱へ」は耳にしているし、今後も関心をもってもらいたい事柄である。

問 13 【B】時事的関心を測る基本的問題。近年、世界遺産への登録が相次いでいるが、2017年には福岡県の沖ノ島が登録された。

問 14 【B】統計を使用した三大工業地帯を含む日本の工業地域に関する出題。難しく感じるかも知れないが、まず、設問文から選択肢は、阪神工業地帯、京浜工業地帯、中京工業地帯、関東内陸工業地域であることを確認する。その後、これら工業地域の特色を思い起こす。そうすると、中京工業地帯は工業出荷額が一番多いこと、自動車工業に代表される機械工業がさかんであることから(エ)となる。次いで、統計から(イ)に印刷業があり、東京で印刷業がさかんなことから、京浜工業地帯となる。残りの(ア)と(ウ)の選択肢で注目するところは金属工業であり、阪神工業地帯の特色は、工業の素材となる鉄鋼業などの金属工業がさかんなところにある(ア)となる。

問 15 【東海道新幹線：C 首都高速道路：D】

問題文中のレガシーについての説明の箇所を参考に、設問の「1964年の東京オリンピックによる交通面の2つのレガシー」を考えていく。まず、「東京」と「交通面(交通手段)」から思いつくことを挙げていき、それらを「1964年に向けて」という時代と重なるかどうかを考え、東海道新幹線や首都高速道路を導き出していく。

問 16 写真を参考にし、社会的関心全般を測った問題。

(1)【B】設問文にある「左の写真の路上にあり」、「右の写真の路上にない」だけで気付く人もいれば、気付かない人もいる。後者の人は「私たちの生活にとって不可欠なもの」という部分が大きな手がかりとなる。そこで「電柱や電線」を導き出し、これは無いわけではないので、右の写真のどこにあるかを考えていくと「地中」となる。

(2)【C】(1)の答えをふまえて、電線や電柱がないとどんな利点があるのかを、自分が持っている知識と重ね合わせて解答していく。

問 17 【ア：A イ：A ウ：A】

世界が抱える具体的な社会問題を、国連の掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」に当てはめる問題。世界で課題となっていることを、普段から自分の生活に結び付けて考える習慣を身につけよう。

問 18 (1)【A】日本を訪れる外国人の数の増加は、時事的関心を測る基本的問題である。

(2)【宗教：A ピクトグラム：B 説明：B】

世界三大宗教とは、世界中の諸地域で広く信仰されている宗教であり、「キリスト教・イスラム教・仏教」が該当する。したがって、「キリスト教」以外の宗教として「イスラム教・仏教」のどちらかを選び、選んだ宗教について答えること。

(3)【B】トイレのピクトグラムは、形を変えて現在もさまざまな場所で目にする。一方、女性がスカートを履くピクトグラムは、ジェンダーの視点から、女性だけがスカートを履くようなイメージを与えかねない。また広い意味でのジェンダーの立場からすると、性的少数者についても考慮する必要があるだろう。